

先生各位

## 受託中止項目および検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、受託の中止および検査内容の変更をさせていただきますのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

### 受託中止

《受託中止日》 平成 21 年 12 月 31 日（木）以降 【12 月 30 日まで受託】

《中止項目》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	代替項目
P.66	1393	梅毒 ガラス板法 定性	梅毒 RPR 法 定性 【検査コード 1397】
	1395	梅毒 凝集法 定性	
	1394	梅毒 ガラス板法 定量	梅毒 RPR 法 定量 【検査コード 1398】
	1396	梅毒 凝集法 定量	

《中止理由》

梅毒 ガラス板法（定性・定量） 検査試薬販売中止のため  
梅毒 凝集法（定性・定量） 検査試薬販売中止のため

## 検査内容変更

《変更日》 平成 22 年 1 月 4 日 (月) 受付分より

《変更内容》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.66	1397	梅毒 RPR法 定性	検体量	血清 0.6 mL	血清 0.2 mL
			所要日数	1 ~ 2 日	2 ~ 3 日
			検査方法	ラテックス凝集法	沈降反応
			報告形態	( - ) ( + )	( - ) ( ± ) ( 1+ ) ( 2+ ) ( 3+ )
	1398	梅毒 RPR法 定量	検体量	血清 0.6 mL	血清 0.3 mL
			所要日数	1 ~ 2 日	2 ~ 3 日
			検査方法	ラテックス凝集法	沈降反応
			基準値	1.0 R.U.未満	( - ) 1 倍未満
単位			R.U.	倍	
報告形態	小数点第一位 最小報告値 0.3 以下 最大報告値 64.0 以上	( - ) 1 未満 ~ ( + ) 64 以上			

《変更理由》 自動分析用試薬への変更による検査所要日数の短縮のため

《補 足》

ラテックス凝集法はほぼ倍数希釈法の値と一致し、16 R.U.以上が届け出の抗体価となります。  
(日本性感染症学会誌 第 20 巻 第 1 号 2009 より抜粋)